

公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート
【公益法人以外用】

団体名称	(株) 幕張メッセ	所管所属名称	商工労働部経済政策課	評価実施年度	令和6年度	※1【説明】は評価をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評価をつけた側の採点結果及び説明を受けて評価をつけていない側が所見を記入しています。	
評価の視点	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価	
				採点	説明又はコメント※1	採点	説明又はコメント※1
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問い直してもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4	1	【コメント】 (株) 幕張メッセは令和2年度を除いて黒字経営であり、開業以来施設管理を継続しているため施設管理や展示会等の誘致に必要な知識を蓄積している。仮に出資又は出捐関係をとりやめ、他の類似団体や民間団体に委託を変更すると、これらの知識を最初から蓄積し直す必要があるため、出資等を継続することが合理的である。 また、国内海外問わず広く展示会等を誘致するためには自由な営業努力が必要であるため、自由な経営を確保できる程度の設立時の出捐に留める現在の県の関与は妥当と考える。	1	【説明】 幕張メッセは、国内のみならず世界各国から人・モノ・情報が一堂に会する国際交流拠点として、千葉県の産業の振興、文化の発展、国際化の推進に寄与し続けており、当該施設の管理については、開業以来、(株)幕張メッセが行っており、MICE誘致のためのノウハウや施設の管理運営に必要な知識を有している。 当団体の取組は、今後も千葉県の国際化の推進と産業振興のために必要であることから、出資を維持する意義があるものとする。 令和5年度においては、施設の稼働率が一部向上し、自主企画事業において地元企業との協力をしたり、近隣の宿泊施設や商業施設との連携を強化したりすることで、アフターコンベンションにも資する街の賑わいづくり及び地元への経済効果が高まるよう努めた。
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4				
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果を比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4				
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ妥当な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体				
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5-2				
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【説明】 役員の起用状況については、経営責任者（代表取締役社長）は民間人材ではないが、役員の多数は民間人材やプロパーで構成されている。 中期事業計画の達成状況については、令和5年度は未達成な項目もあるものの主要な項目である経常利益については黒字を維持した。 人員体制については、社員の年齢層に偏りがあり、今後10年程度で相当数の社員が定年を迎える。継続的な経営のため、計画的な社員の採用を行っていく。	1	【コメント】 理事会等の開催や、財務諸表等の作成・公表等は法令に基づき適正に行われている。 人員体制については、今後の計画的な社員の採用と合わせて、施設の維持管理に関するノウハウの適切な継承を進める必要がある。
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7				
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8				
	④ 人員体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8				
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9				
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【説明】 令和2年度決算は当社初の赤字となったが、令和3年度、令和4年度、令和5年度は黒字となり、債務超過や累積損益に赤字はないため財務状況は問題ない。	1	【コメント】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度は赤字に転じたものの、その後の決算では黒字に転じた。また、繰越利益剰余金が一定程度あり、財務状況は問題ない。
	② 経常損益の状況【公益法人以外用の評価項目】	1点：直近3年間はいずれも黒字である。 0点：直近3年間に赤字の年度があった。 ▲1点：直近の決算は赤字であった。	10				
	③ 繰越損益の状況【公益法人以外用の評価項目】	1点：直近3年間はいずれも黒字である。 0点：直近3年間に赤字の年度があった。 ▲1点：直近の決算は赤字であった。	10				
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5-2				
	⑤ 財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体				
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援を受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	0	【説明】 県からは職員の派遣や退職者の紹介を受けており、また県から公券を経て指定管理者に指定されており、委託料（指定管理料）を得ている。損失補填や財政的な支援、追加出資などの支援は受けていない。	1	【コメント】 損失補填など、県からの財政的な支援は行われていない。 県からの人的支援に関しては、県出資団体として県の方針に合わせた法人運営をする必要がある。
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11				
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11				
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的な支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12				
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12				

採点の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	採点	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	5	10
2 経営体制	5	3	8
3 財務状況	5	5	10
4 県からの支援	5	4	9

※2「基準点」は、超えていなければ、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてもらうことを期待しています。

総務課による総括コメント

経営状況等について問題がある事項は、特段見受けられない。関与方針に基づき団体による自主的な経営改善を維持し、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。事業の実施に当たっては、業務量の変化に応じた効率的かつ弾力的な対応が可能な人員体制となるように努めていただきたい。

採点の集計結果のレーダーチャート

